

診療科目：放射線科

カテゴリー：選択科目

【一般目標】

- ・ 画像診断の各モダリティの特徴、利点、欠点を理解するとともに、画像診断の目的、適応、選択を正しく行えるようになる。
- ・ 基礎的な画像診断力を身につける。
- ・ IVR の助手を務め基礎的な手技を経験するとともに IVR の有用性、適応、リスクや合併症を理解する。

【個別目標】

- ・ 単純 X 線検査、CT、MRI、超音波検査における画像解剖と基本的な読影法の習得。
- ・ X 線検査、CT、MRI の報告書を指導医の元で作成できるようになる。
- ・ 核医学検査の利点や欠点、適応の理解を深める。
- ・ 腹部超音波検査を経験し、基本的なスクリーニング検査ができるようになる。
- ・ IVR の助手を務め、動脈穿刺法や基本的なカテーテル操作を学ぶ。また IVR の適応、リスク、合併症を理解する。
- ・ 造影検査の有用性と適応およびそのリスクについて理解を深める。また造影剤の副作用に対する対処を学ぶ。

【指導原則、方法】

- ・ 画像診断／報告書作成、IVR 手技、超音波検査のすべてを指導医の元でできるだけ多数経験する事を基本とする。
- ・ 報告書の作成-指導医の確認／指導を繰り返す事で画像診断全般への理解と知識の向上を目指す。
- ・ IVR 手技、超音波検査は指導医の元で体験し適切な技術の習得と全般的な知識の習得を促す。